

課題7事例

北海道恵庭市 教育旅行等受入促進事業

平成29年度から内閣府の地方創生推進交付金を活用し、訪日教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れ促進・拡大を行うことで、海外の若者世代に恵庭の文化・生活・産業・自然を体験してもらい、将来的な訪日リピーターを獲得することを目的としている。

主要なターゲットを訪日教育旅行者が最も多い“台湾”と定め、観光交流を主体とする事業を展開することで、地域が一体となった魅力あるまちづくり、交流人口の増加・地域経済の活性化を図っている。



ポイント

- ターゲット設定
- 教育旅行受入前の学校関係者、市民への説明会の実施
- 地域一体となった取組
- 台湾現地でのセールスコール

背景

交流人口の増加・地域経済の活性化を図るため、平成29年度から内閣府の地方創生推進交付金を活用し、修学教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れを核とした 将来の対恵庭観光・投資拡大事業を実施。

訪日教育旅行・修学旅行等の学生の受け入れ促進・拡大を行うことで、海外の若者世代に恵庭の文化・生活・産業・自然を体験してもらい、将来的な訪日リピーターを獲得することを目的とした事業である。

取組内容

【オンライン】

- ・観光WEBサイト ENIWA EYE (<https://eniwa-eye.com/>)の制作・情報発信
- ・SNS (Instagram、Facebook)の制作・情報発信
- ・インフルエンサーのSNSによる情報発信

【オフライン】

- ・台湾国際教育旅行連盟の招聘
(市長表敬、教育長意見交換会、観光協会会長意見交換会)
- ・インフルエンサー、旅行会社の招聘
- ・台湾旅行博への参加
- ・台湾現地旅行会社、学校へのセールスコール
- ・商談のためのビジネスマッチングブックの制作
- ・教育旅行商品の造成



初年度に台湾現地の旅行専門家を招聘し、意見を元に旅行商品を造成。学校関係者や市民へ事前に説明を行ったことで、ホームステイの受入れや学校交流の受入れがスムーズに運んだ。

また実際に台湾の学校へセールスコールを行い、決定権のある校長、講師と商談することで、実際の受入れにつながった。

教育旅行受入行程表(一例)

時間	内容
9:00	恵庭市へ移動
10:00	大安寺 写経体験
11:00	学校見学 歓迎式-学校紹介-意見交換-公社・授業見学-防災備品の見学-給食風景の見学
13:15	ルルマップ自然公園ふれらんど 昼食 かまくら餅・雪遊び大会
14:30	余湖農園 そば打ち体験
16:00	サッポロビール北海道工場 工場見学・試飲
17:00	レストランヴァルハラ ジンギスカン(夕食)
19:00	宿泊施設へ移動

教育旅行受入推移

	2017年	2018年	2019年
商談会商談数	学校団体 2校 旅行会社 3社	航空会社 1社 旅行会社 33社 その他 2社	学校団体 25校
個別訪問数	学校訪問 3校 旅行会社訪問 10社	学校訪問14校	学校訪問 13校 旅行会社訪問 3社
招聘数	メディア 2社	旅行会社 2社 メディア 1社	プログラマー 1名 留学生 2名
教育旅行受入数	1校	2校	5校